

理容師、美容師の皆さんへ

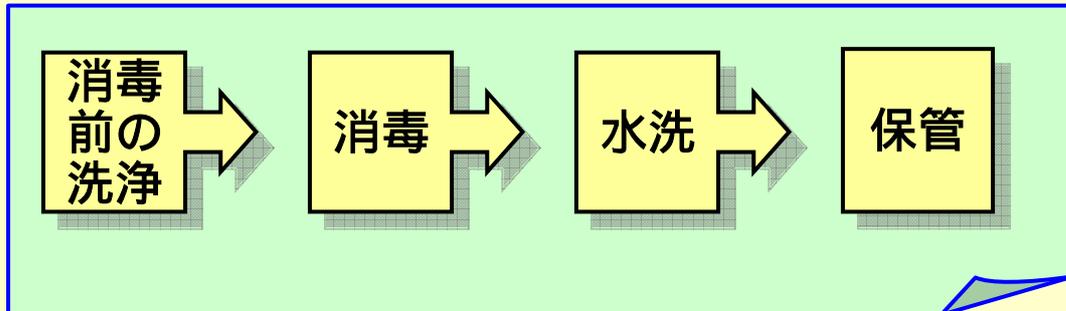
器具の消毒方法

器具や手指の洗淨・消毒を確実に行って、技術だけでなく、お客様に安全・安心も提供しましょう！

北海道釧路保健所

(北海道釧路保健福祉事務所保健福祉部)

消毒の手順



器具の分類

消毒の方法は、皮ふに接する器具の種類によって異なります。

皮ふに接する器具の分類

カミソリ(もっぱら頭髪を切断する用途に使用されるものを除く。

【注】)と、カミソリ以外の器具で、血液の付着しているもの、またはその疑いのあるもの

【注】カミソリには、顔そり、襟足そり、頭髪のカットなど、用途により何種類かありますが、ここでは血液の付着の有無にかかわらず、顔そりのように直接肌に接する使い方をするカミソリを指します。

カミソリ以外の器具で血液が付着している疑いのないもの

カミソリ			の器具
カミソリ以外の器具	血液の付着あり	疑いあり	
	疑いなし		の器具

消毒をする前に器具を十分洗浄しましょう！

の器具の洗浄と消毒

洗浄

消毒する前に家庭用洗剤をつけたスポンジなどを用いて、器具の表面をこすり、十分な流水(10秒間以上、1リットル以上)で洗浄します。

- 1 流水で洗うだけでなく、こすり洗いをします。血液が付着している器具は、時間がたつにつれ、こすり洗いをしても落ちにくくなりますので、ただちに洗うことが大切です。
- 2 スポンジなどは自分の手を傷つけないように柄の付いたスポンジなどを用いることがよいでしょう。
- 3 洗浄するとき、流水が飛散しないように注意することが必要です。
- 4 洗浄に使用したスポンジなどは使用後、流水で十分洗浄し、汚れのひどい場合は、76.9v/v% ~ 81.4v/v%エタノール液(消毒用エタノール)又は次亜塩素酸ナトリウム液で消毒しましょう。

消毒

次のいずれかの方法で消毒します。

煮沸消毒器による消毒

沸騰してから2分間以上煮沸します。

くし等合成樹脂製のものの一部には加熱により変形するものがあります。

水量を適量に維持する必要があります。

さび止めの目的で、亜硫酸ナトリウム等を加えることができます。

エタノールによる消毒

76.9v/v% ~ 81.4 v/v%エタノール(消毒用エタノール)中に10分間以上浸します。

消毒液は、蒸発、汚れの程度等により、**7日以内**に取り替えること。

消毒用エタノールを希釈せず使用することが望ましいが、無水エタノール又はエタノールを使用する場合は、消毒用エタノールと同等に希釈して使用すること。

次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

0.1%次亜塩素酸ナトリウム液(有効濃度1,000ppm)中に10分間以上浸します。

金属器具や動物性の繊維製品は、腐食するので、必要以上に長時間浸さないこと。

消毒液は毎日取り替えること。消毒液を取り扱う際には、ゴム手袋を着用する等、直接皮膚に触れないようにすること。

保管中に塩素濃度の低下がみられるので、消毒液の有効塩素濃度を確認することが望ましい。

消毒が終わったら「消毒後の器具の水洗・保管」へ

の器具の洗浄と消毒

洗浄

の器具と同じように洗浄して汚れを落としておくことが大切です。

消毒

次のいずれかの方法で消毒します。

の器具と同様の消毒方法 煮沸消毒、エタノール、次亜塩素酸ナトリウム液による消毒のいずれか。2ページを参照してください。

紫外線照射による消毒 紫外線消毒器内の紫外線灯から $85 \mu\text{w}/\text{cm}^2$ 以上の紫外線を連続して20分間以上照射します。
構造が複雑で、直接紫外線の照射を受けにくい形状の器具類の消毒には適さない。2,000～3,000時間の照射で出力が低下するので、紫外線灯の取替えが必要である。

蒸し器等による蒸気消毒 80 を超える蒸気に10分間以上触れさせます。(温度計により器内の最上部の温度を確認すること。)
合成樹脂製のものの一部には加熱により変形するものがあります。
タオル等を積み重ねて消毒する場合は、最上部が湿熱に十分触れないことがある。

エタノールによる消毒 76.9v/v%～81.4v/v%エタノール(消毒用エタノール)を含ませた綿又はガーゼで器具の表面をふきます。

次亜塩素酸ナトリウムによる消毒 0.01%～0.1%次亜塩素酸ナトリウム(有効濃度1,000ppm)中に10分間以上浸します。

逆性石けん液による消毒 0.1%～0.2%逆性石けん液(塩化ベンザルコニウム又は塩化ベンザトニウム)中に10分間以上浸します。
石けん、洗剤を用いて洗浄したものを消毒するときは、十分水洗いしてから使用すること。
消毒液は、毎日取り替えること。

グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒 0.05%グルコン酸クロルヘキシジン液中に10分間以上浸します。
消毒液は、毎日取り替えること。

両面活性剤による消毒 0.1%～0.2%両面活性剤液(塩酸アルキルポリアミノエチルグリシン又は塩酸アルキルジアミノエチルグリシン)中に10分以上浸します。
消毒液は、毎日取り替えること。

消毒が終わったら「消毒後の器具の水洗・保管」へ

消毒後の器具の水洗・保管

- 1 消毒した後は、流水で消毒液を洗い流してよくふき、刃物は必要に応じて油を差しておきます。
- 2 消毒した器具は、使用済みのものと区別して、汚染を防止するためにふた付きの収納ケースなどに保管します。

消毒に必要な器材

- 1 液量計 100ml用及び1,000ml用
- 2 消毒容器、消毒用バット(ふた付きのものが望ましい。)、洗面器、その他消毒に必要な容器
- 3 卓上噴霧器

タオル類の消毒

- 1 加熱による場合は、使用したタオル及び布類を洗剤で洗浄した後、蒸し器などの上記消毒器に入れ、器内が80℃を超えてから10分間以上保持させます。この場合、器内の最上部のタオルなどの中心温度が80℃を超えていないことがあるので、蒸気が均等に浸透するように十分注意が必要です。
- 2 消毒液による場合は、使用したタオル、布類を次亜塩素酸ナトリウム液に浸し、消毒します。消毒終了後は、洗濯し、必要に応じて乾燥保管するか、または蒸し器に入れます。次亜塩素酸ナトリウム液は、消毒作用のほか漂白作用もあるため、色物の消毒には適しません。タオルは白色を使用するようにしましょう。

血液が付着したタオル、布類は、廃棄するか又は血液が付着している器具と同様の洗浄及び消毒を行います。

手指の消毒

- 1 石ケン、ブラシなどを使って消毒前によく洗浄します。
- 2 手指の消毒は、速乾性擦式消毒剤による方法、または手指を消毒液中に浸す方法により消毒します。手指を消毒液中に浸す方法により消毒する場合には、手指を消毒液中に十分浸し、30～60秒もみ洗いします。この場合の消毒液としては、0.05%～0.1%逆性石ケン液、0.05%～0.2%両性界面活性剤液、0.1%～0.5%グルコン酸ク ロルヘキシジン液などを使用します。
- 3 手指の消毒後は、水洗いし、清潔なタオル又は使い捨てのペーパータオルなどでふきとります。

その他の消毒

- 1 シェービングカップなどの間接的に皮ふに接する器具類についても、その材質に応じ、以上に掲げた消毒方法のいずれかの方法により消毒します。
- 2 理容所・美容所内の施設、毛髪箱、汚物箱などの設備については、適宜、消毒します。

ウイルスに 感染する 危険性



ヒト免疫不全ウイルス(HIV)、B型肝炎ウイルス(HBV)、C型肝炎ウイルス(HCV)は、血液を媒体として感染することがあります。理容所や美容所においては、カミソリの刃等についた感染者の血液が、理容師や美容師、他のお客さんの傷口などから体内に入り、二次感染を及ぼす危険性があります。

HIVに感染して引き起こされるエイズは、免疫機能が働かなくなり、細菌やウイルス、カビなどに対する抵抗力が衰える深刻な病気です。HBV・HCVへの感染によるB型肝炎・C型肝炎は、慢性肝炎となり、それがやがて肝硬変や肝臓がん

に進行する可能性があります。なかでも、C型肝炎は、自然治癒することがきわめてまれであり、肝硬変の原因の半分がHCVにより引き起こされています。

しかし、HIV感染からエイズ発症までは、平均約10年という長い時間がかかります。いずれも、感染者本人が感染していることを自覚しないままに第三者に感染させる危険があるウイルスですので、理容所や美容所でも、消毒を徹底するなど十分な注意が必要です。

参考:「やさしい肝炎の話」「これだけは知っておきたいウイルス肝炎」など ((財)ウイルス肝炎研究財団)